

| NO | 委員名 | 議題（資料）名 | 意見 | 対応 | 記載内容等 |
|-------------------------------|------|----------------------------|---|---------------------------------|--|
| 新たな総合計画「基本構想」骨子（案）について | | | | | |
| 1 | 柳瀬委員 | 基本構想 骨子(案) | 社会的環境が大きく変化したので、見直さなければならぬという観点のもと、作られていると認識しているが、あまり変わっていない印象を受ける。インパクト、メリハリをつけて、表現していただけるよう工夫してもらいたい。 | 「基本構想」素案（案）に反映しました。 | 基本構想の見直しの視点について、「5 基本構想の見直しの視点」（P7）に記載しました。 また、県の政策がめざすべき方向性について、社会環境の変化を踏まえながら、「政策展開の基本的視点」（P13～19）にまとめました。 さらに、これらの視点を踏まえ、「実施計画」で重点的・分野横断的に推進する政策をプロジェクトとして取りまとめました。 |
| 2 | 関委員 | 基本構想 骨子(案) | 人生100年時代は日本全国の課題の中で、神奈川としては何をやるのかが、もう少し見えてくると良い。全国との比較などをもっと盛り込んだらどうか。 | 「基本構想」素案（案）、「実施計画」素案（案）に反映しました。 | 【基本構想】 <P14「政策展開の基本的視点」> (人生100歳時代) そこで、誰もが文化芸術活動やスポーツに多様な形で親しみ、人々との交流を通じて心豊かにくらすことができるよう、様々な場や機会の創出をめざします。また、働き方やキャリア形成の多様化を後押しし、誰もが生涯の生活設計に多様な選択肢を持ち、生き生きと活躍できる社会づくりをめざします。 【実施計画】 <P49「神奈川の戦略」「2 輝き続ける人生100歳時代の実現」>ページを新たに作成し、取組を加筆しました。 |
| 3 | 古塩委員 | 基本構想 骨子(案) 1 政策展開の基本的視点 | パンデミックを経験して、そこで新しい社会、新しい文化の方向を示すということが重要ではないか。 | 「基本構想」素案（案）に反映しました。 | パンデミックの経験を踏まえた、めざすべき方向性について、以下の箇所に記載しました。 (記載量の都合上、記載内容の転記は省略しています) <「政策展開の基本的視点」> ・P13 (人口減少社会) ・P15 (デジタル技術の進展による地域・社会の変化) ・P17 (社会的孤立や生活への不安) ・P18 (くらしをとりまくリスクや潜在的課題) |

| NO | 委員名 | 議題（資料）名 | 意見 | 対応 | 記載内容等 |
|------------------------|------|------------------|---|---------------------|---|
| 新たな総合計画「実施計画」骨子（案）について | | | | | |
| 4 | 渡辺委員 | 実施計画 骨子(案) | 「ともいき」という略語が使われているが、略語をこれからも広めていくという説明はあるのか。どういう方向性なのか。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | P117「3つの主流化」 また、政策の立案・企画・実施に当たっては、「ジェンダー」「ともに生きる（ともいき）」「当事者目線」の視点を「3つの主流化」として、いつも意識していきます。 |
| 5 | 小出委員 | 実施計画 骨子(案)プロジェクト | P J 1「子ども・若者」2「教育」ですが、グローバルに活躍できる人材の育成が遅れていると感じる。神奈川の戦略の中にもグローバル戦略という言葉も出てくるが、グローバルな人材を受入れるだけでなく、神奈川に生まれ育った方がグローバルに活躍できる人材になっていただきたい、それを育成していくための教育のありようも考えていただきたい。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <P14「PJ2 教育」「具体的な取組」> A 思いやる力や自立して生き抜く力、社会に貢献する力を育成する学校教育 2丸目 社会の変化に対応する教育を推進するため、理数教育の推進やグローバル人材の育成、1人1台端末を活用した教育活動などに取り組みます。 |
| 6 | 鈴木委員 | 実施計画 骨子(案)プロジェクト | P J 3「未病改善や医療・介護の充実による生き生きとくらす社会」の「慣れ親しんだ地域で安心して生活ができる社会に向けた医療提供体制の構築」という文章は、提供するだけではこれから人材も少なくなるし、医療の働き方改革等もあってかなり厳しい状況になるので、提供を受ける側、県民側も一緒になって作ってってもらいたいという思いがあり、言葉が少し違うかと思う。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <P16「PJ3 未病・健康長寿」「具体的な取組」> B 人口減少・超高齢社会においても持続可能で質の高い保健・医療の提供 3丸目 増大する医療ニーズに対応するため、地域医療に従事する医師の育成や、看護師の研修等による人材確保、かかりつけ医の推進などによる上手な医療のかかり方の推進に取り組みます。また、地域医療構想に基づき、病床の機能分化・連携の推進に取り組みます。 |
| 7 | 小出委員 | 実施計画 骨子(案)プロジェクト | P J 6「経済・労働」の中に「多様な人材の活躍促進」と入っていますが、こちらに「多様な人材」だけではなく、「多様な働き方」という要素もぜひ入れていただきたい。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <P24「PJ6 経済・労働」「具体的な取組」> C 多様な人材の活躍促進 1丸目 誰もが多様な働き方を選択し、生き生きと働き続けることができる社会を実現するため、企業に対しての働き方改革に関するセミナーの実施や、仕事と生活を両立できる職場環境整備の促進などに取り組みます。 |
| 8 | 清水委員 | 実施計画 骨子(案) | P J 7「農林水産」のところで、農林水産業という産業を県がどう位置付けているの見えにくい。単なる食料供給産業というイメージだが、今は多面的な性格ということで食料供給以外の機能をもっと積極的に評価して位置付け、例えばこの地球温暖化の中における農林水産業など、農林水産業の多面的なところを積極的に評価したプロジェクトにしていただくと良いのではないか。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <P26「PJ7 農林水産」「具体的な取組」> B 安全・安心な魅力ある県産農林水産物の利用拡大 4丸目 都市と農林水産業の共存を図るため、学校等への出前講座や、地域ぐるみの共同活動や里地里山の保全活動などを実施し、農林水産業の多面的機能や生産活動に対する県民の理解促進を図ります。 |

| NO | 委員名 | 議題（資料）名 | 意見 | 対応 | 記載内容等 |
|----|------|------------------|---|---------------------------------|--|
| 9 | 松行委員 | 実施計画 骨子(案)プロジェクト | 気候変動が進んでしまうと、排出抑制は大切だが、適応策をもっと考えていかないと、生活や経済を維持できないのではと考える。危機管理の災害にはあるが、それ以外、適応策のところが無い。適応策について、もう少し考える必要がある。 | 「基本構想」素案（案）、「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <p>【基本構想】 <P27「政策分野別の基本方向」(4)環境・エネルギー> (脱炭素社会の実現) 既に現れている地球温暖化の影響を回避・軽減するため、気候変動に適応する施策を推進します。</p> <p>【実施計画】 <P26「PJ7 農林水産」「具体的な取組」> A 安定した食料等の生産基盤の構築 3 丸目 魅力ある産業として次世代へ引き継ぐため、新品種などの育成、品質や生産性を高めるスマート技術等の開発・普及、国際情勢の変化に左右されない飼料生産基盤の強化、養殖と海業の振興、水産資源の管理体制の強化などに取り組みます。 4 丸目 環境と共存する産業を実現するため、「みどりの食料システム戦略」に対応した環境負荷低減技術の導入支援、地域ぐるみで取り組む鳥獣被害対策、藻場の再生整備などに取り組みます。</p> <p>B 安全・安心な魅力ある県産農林水産物の利用拡大 4 丸目 都市と農林水産業の共存を図るため、学校等への出前講座や、地域ぐるみの共同活動や里地里山の保全活動などを実施し、農林水産業の多面的機能や生産活動に対する県民の理解促進を図ります。</p> <p><P40 [PJ12 危機管理]「具体的な取組」> B 災害に強いまちづくり 1 丸目 激甚化、頻発化している水害に備えるために、引き続き、河川整備を進めるとともに、流域にかかわるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う「流域治水」を推進します。また、土砂災害から県民の生命や財産を守るため、土砂災害防止施設の整備と維持管理に取り組みます。</p> <p><P101「主要施策」「IV環境・エネルギー」> ①脱炭素社会の実現 「411 気候変動の影響への適応」について加筆しました。</p> |

| NO | 委員名 | 議題（資料）名 | 意見 | 対応 | 記載内容等 |
|----|------|------------------|--|---------------------------------|--|
| 10 | 田中委員 | 実施計画 骨子(案)プロジェクト | P J 11「くらしの安心」について、高齢者が被害者となる特殊詐欺ですとかサイバー空間での脅威だけがフォーカスされているような印象を受けますが、他にも様々な脅威がある。特に高齢者のみならず、成年年齢の引き下げに伴って若者の被害の増加が、例えばエステが閉店したとか、訪問販売、インターネット販売などの苦情が増えている。これらは共通しているのが特定商取引法に関連する分野のトラブルが多くなっているの、そういった視点で対策を明記していただきたい。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <p><P38「PJ11 くらしの安心」「具体的な取組」> C 消費生活の安心 1 丸目 超高齢社会の進行や成年年齢の引下げ、複雑・多様化する取引形態など、消費者をめぐる状況を踏まえ、市町村への支援等を通じて<u>県全体の消費生活相談機能の充実に取り組みます。</u></p> |
| 11 | 関委員 | 実施計画 骨子(案)プロジェクト | パンデミックを受けて何をどう変えるのかについて、もう少し具体的にわかりやすく計画のところでは表していくことができるのではないかと。 | 「基本構想」素案（案）、「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <p>【基本構想】 パンデミックの経験を踏まえた、めざすべき方向性について、以下の箇所に記載しました。 （記載量の都合上、記載内容の転記は省略しています） <「政策展開の基本的視点」> ・P13（人口減少社会） ・P15（デジタル技術の進展による地域・社会の変化） ・P17（社会的孤立や生活への不安） ・P18（くらしをとりまくリスクや潜在的課題）</p> <p>【実施計画】 <P31「PJ9 生活困窮」「プロジェクトのねらい」> 新興感染症の感染拡大や国際情勢の不安定化などの影響により、「見えない困窮」など社会に潜在化する生活困窮などの課題が浮き彫りとなりました。こうした想定し得ない事態が生じた場合でも、<u>県民のくらしへの影響を最小限に抑えるための備えが求められています。</u></p> <p><P40「PJ12 危機管理」「具体的な取組」> C 非常時に対応できる持続可能な医療提供体制の構築 1 丸目 非常時に対応できる持続可能な医療提供体制を構築するため、地震や風水害に対応できる施設整備に取り組みます。また、<u>医療機関との協定締結により、非常時に対応できる病床の確保を推進します。</u> 2 丸目 感染症に対応できる人材を確保するため、医療従事者等に向けた県の感染症対応研修を実施するなど、<u>医療人材育成の強化</u>に取り組みます。</p> |

| NO | 委員名 | 議題（資料）名 | 意見 | 対応 | 記載内容等 |
|----|------|----------------------|---|---------------------|---|
| 12 | 松行委員 | 実施計画 骨子(案) プロジェクト | 人口が減っていく中で、高度成長期に作った下水道などインフラをどうやって維持管理していくかが、非常に厳しい課題となってきている。都市基盤は、新しく整備するのも大切だが、これから維持管理が非常に重要になる。ぜひ維持管理についても検討してほしい。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <p><P44「PJ13 都市基盤」「具体的な取組」> B 活力と魅力あふれる強靱なまちづくりの推進 5 丸目 県民の安心・安全かつ快適な生活を持続するため、<u>AIやドローンなどのデジタル技術を活用しながら、道路、河川、ダム、上下水道など、インフラ施設の戦略的なメンテナンスに取り組みます。</u></p> |
| 13 | 谷口委員 | 実施計画 骨子(案) 神奈川の戦略 | 輝き続ける人生100歳時代の実現について、県として住まいの面での支援。もう一つは定年前の40・50代あたりから、定年後の生活設計や資産をどうやって安定して増やしていくのかといった教育や支援も必要なので、何らかの形で盛り込んでいただきたい。特に、住まいの面は是非、盛り込んでいただきたい。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <p><P44「PJ13 都市基盤」「具体的な取組」> B 活力と魅力あふれる強靱なまちづくりの推進 4 丸目 だれもが安心してらせる住宅を確保するため、老朽化が進む県営住宅の建替えを進めるとともに、<u>民間賃貸住宅を活用したセーフティネット住宅の登録促進など、子育て世帯や高齢単身者など住宅確保要配慮者の居住の安定確保に取り組みます。</u></p> <p><P50「神奈川の戦略」「2 輝き続ける人生100歳時代の現実」「具体的な取組」> 人生の充実につながるライフスタイルの多様化の促進 2 丸目 県民一人ひとりの学びの意欲に応え、<u>生涯にわたって能動的に学び続けることや、いくつになっても学び直すことができるよう、生涯学習などの環境整備を行います。</u></p> |
| 14 | 関委員 | 実施計画 骨子(案) 神奈川の戦略 | 人生100年時代というのは、若い時からどう備えていくかがとても重要だと思っているので、未病対策も含めて予防に力を入れているので、そういう意味では病気だけではなく、財産管理や将来の働き方も含めて、60歳になってから急にその後どう働いていくか考えていくこともできないので、もっと若いうちからどう人生100年時代に備えられるのか考えていけるような工夫をしていくことができればよい。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <p><P50「神奈川の戦略」「2 輝き続ける人生100歳時代の現実」「具体的な取組」> 人生の充実につながるライフスタイルの多様化の促進 2 丸目 県民一人ひとりの学びの意欲に応え、生涯にわたって能動的に学び続けることや、いくつになっても学び直すことができるよう、<u>生涯学習などの環境整備を行います。</u></p> |
| 15 | 岸部委員 | 実施計画 骨子(案) 計画推進 | 「ジェンダー」の視点、「ともに生きる」の視点、「当事者目線」を入れるとなると、この計画段階の4年間で、今現在のデータの中でそうした内容が網羅された調査というのは少ないと思う。県が仮にその3つの視点で進めるのであれば県独自の調査をしていくことになるが、そうしたデータの取り方の工夫等もしていかなければならない。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <p><P117「計画推進」「1 計画推進のための行政運営」「① デジタル技術の活用による効果的・効率的な施策の推進」> 行政分野においても、限られた予算・人材を有効に活用し、複雑・多様化する県民ニーズに対応した質の高いサービスを提供していくために、<u>デジタル技術及びデータを積極的に利活用し、検証可能な施策立案を進めるとともに、これまで以上に業務の効率化を図る必要があります。</u></p> |

| NO | 委員名 | 議題（資料）名 | 意見 | 対応 | 記載内容等 |
|----|------|--------------------|---|---------------------|---|
| 16 | 古塩委員 | 実施計画 骨子(案) | 県のプロジェクトは、市町村がやっている施策事業に対してどういう関係にあるのか。事業をフォローしてくれるのか、それとも方向をリードしてくれるのか、そのところをこの計画でははっきりとさせていただきたい。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <p><P118「計画推進」「1 計画推進のための行政運営」「③ 県内市町村や他都道府県との協調・連携></p> <p>持続可能な行政サービスを提供していくためには、<u>国・県・市町村間での適切な役割分担のもと、県は、地域の実情や住民ニーズを的確に把握し、市町村や他都道府県と協調・連携を柔軟に図りながら、県内全域における総合調整機能を発揮するとともに、市町村の補完的役割を担い、広域自治体としての役割を一段と果たしていくことが重要です。</u></p> |
| 17 | 岸部委員 | 実施計画 骨子(案) 計画推進 | 戦略的な広報の実施と書いてあるが、「当事者目線」や「ともに生きる」というところでやるのであれば、双方向的な県民からの意見聴取ということも戦略的な点になるのかと思う。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <p><P117「計画推進」「1 計画推進のための行政運営」「② 多様な担い手との協働・連携></p> <p>こうしたことから、県は、めざすべき方向性や問題意識を、県民や企業、NPO、大学、団体等と、対等なパートナーとして共有し、<u>政策形成の早い段階から対話を重ねるなど、複雑化・多様化する様々な課題に共に向き合って協働・連携を推進します。</u></p> <p><P118「計画推進」「1 計画推進のための行政運営」「⑤ 戦略的な広報の実施」></p> <p>今後とも、緊急・災害時など、いざというときに必要な情報を正確かつ速やかに県民に伝えることができるような体制を整備・運用するとともに、テレビ・ラジオ・SNS・ウェブなど多岐にわたる広報媒体や伝達手段を活用し、<u>県民目線に立った広報を展開することで、さらなる広報の質の向上を図ります。</u></p> |
| 18 | 中村委員 | 実施計画 骨子(案) | 神奈川県が、それぞれの地域でどのようなことをやっているかは、しっかりアピールしないといけないので、5ブロックでそれぞれどんなことをやっているかというのは、市町村ごとだと細かすぎるが、ブロックごとに少なくとも県はこんなことやっていきますということは、明確に見える化していく必要がある。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <p><P58「プロジェクトに関連する地域づくりの取組」>ページを新たに作成し、地域圏別の取組を加筆しました。</p> <p>川崎・横浜地域圏 三浦半島地域圏 県央地域圏 湘南地域圏 県西地域圏</p> |

第98回計画推進評価部会・第20回計画策定専門部会における意見と県の対応

| NO | 委員名 | 議題（資料）名 | 意見 | 対応 | 記載内容等 |
|-------------------------------|------|---|--|---------------------|--|
| 新たな総合計画「基本構想」骨子（案）について | | | | | |
| 19 | 河野委員 | 基本構想 骨子(案) 3 神奈川の将来像 1 政策展開の基本的視点 | より伝わりやすい内容にするために、「神奈川の将来像」の3つと「政策展開の基本的視点」の7つがどのような対応関係になっているのかが、分かると伝わる。複合的に絡みあっているが、県民が理解でき、県のねらいが深く理解できるよう、対応関係が分かると良い。 | 「基本構想」素案（案）に反映しました。 | <p>※「神奈川の将来像」は、県民や企業、NPO、大学、団体、行政などが、共に実現をめざす将来像です。また、「政策展開の基本的視点」は、県の政策がめざすべき方向性を分野横断的にまとめたものです。</p> <p><P10「神奈川の将来像」> リード文 基本理念のもとに、2040（令和22）年を展望し、誰もが安心して暮らし、また誰もが自らの力を発揮して活躍し、そして持続的に発展する神奈川の実現を、<u>県民や企業、NPO、大学、団体、行政など多様な強みを持つ主体の力を結集して共にめざします。</u></p> <p><P13「政策展開の基本的視点」> リード文 基本目標の実現に向けて、<u>県の政策がめざすべき方向性を政策展開に当たっての基本的な視点としてまとめました。</u></p> |
| 20 | 海津委員 | | 2040年を考えると、次の時代をつくり神奈川を担っていく人材を育てる視点が重要である。 | 「基本構想」素案（案）に反映しました。 | <p><P13「政策展開の基本的視点」> (少子高齢社会) そこで、若い世代が未来に希望を持ち、希望する人数の子どもを生み育てることができるよう、<u>当事者である若い世代や子どもの目線を大切にしながら、経済的な負担や社会的な障壁の緩和をめざすとともに、神奈川の未来を担うすべての子どもたちが安心して快適に学び、自分らしく生きる力を高められる環境づくりをめざします。</u></p> |

| NO | 委員名 | 議題（資料）名 | 意見 | 対応 | 記載内容等 |
|----|------|---|---|---------------------|---|
| 21 | 米田委員 | 基本構想 骨子(案) 1 政策展開の基本的視点 | 2040年を考えると、人口減少は大きな課題ではあるが、「基本構想」も「実施計画」も最初に人口減少と紐づけて子育て支援が出てくるのが気になる。人口減少と子育て支援が続くと、何となく女性が産む人だけ期待されているようにも読み取れないので、このあたりの書きぶりを少し考えてもらいたい。 | 「基本構想」素案（案）に反映しました。 | <P13「政策展開の基本的視点」> (少子高齢社会) そこで、若い世代が未来に希望を持ち、希望する人数の子どもを生み育てることができるよう、 <u>当事者である若い世代や子どもの目線を大切にしながら、経済的な負担や社会的な障壁の緩和をめざすとともに、神奈川の未来を担うすべての子どもたちが安心して快適に学び、自分らしく生きる力を高められる環境づくりをめざします。</u> |
| 22 | 米田委員 | | 人材の育成は、社会を構成する担い手の育成として考え方を切り替えるべきである。子ども・若者が社会から大切にされていると実感することにより、自分自身を大事にしたいという思いを超えていかないと社会に貢献しようとならない。子ども・若者が大事にされることが重要である。 | 「基本構想」素案（案）に反映しました。 | <P13「政策展開の基本的視点」> (少子高齢社会) そこで、若い世代が未来に希望を持ち、希望する人数の子どもを生み育てることができるよう、 <u>当事者である若い世代や子どもの目線を大切にしながら、経済的な負担や社会的な障壁の緩和をめざすとともに、神奈川の未来を担うすべての子どもたちが安心して快適に学び、自分らしく生きる力を高められる環境づくりをめざします。</u> |
| 23 | 米田委員 | 基本構想 骨子(案) 1 政策展開の基本的視点 ・社会的孤立や生活への不安 | 「社会的孤立」がコロナに紐づけて書かれているが、地域社会の中でつながりを作ることに對して、社会的に関心が高まっており、人と人とのつながりの重要性に触れていただきたい。 | 「基本構想」素案（案）に反映しました。 | <P14「政策展開の基本的視点」> (人生100歳時代) そこで、誰もが文化芸術活動やスポーツに多様な形で親しみ、 <u>人々との交流を通じて心豊かにくらすことができるよう、様々な場や機会の創出をめざします。</u> <P17「政策展開の基本的視点」> (社会的孤立や生活への不安) そこで、多様な担い手と連携し、声を上げることが難しい子ども・若者や、 <u>困窮に陥りやすいひとり親家庭、困難な問題を抱える女性、孤独・孤立に悩む方など、生きづらさやくらしにくさを抱える人たちへの支援の輪を広げること</u> で、「見えない困窮」にも早期に対応し、誰もが生まれ育った環境によって将来を左右されず、自分らしく生きられる社会づくりをめざします。 |

| NO | 委員名 | 議題（資料）名 | 意見 | 対応 | 記載内容等 |
|----|------|---|---|---------------------|--|
| 24 | 原委員 | 基本構想 骨子(案) 1 政策展開の基本的視点 ・社会的孤立や生活への不安 | 社会的孤立について、障がい者の視点も大事だが、高齢者だけでなく、若者でもないという意味で、社会的孤立に「全世代」というキーワードがあるとよい。 | 「基本構想」素案（案）に反映しました。 | <P17「政策展開の基本的視点」> (社会的孤立や生活への不安) そこで、多様な担い手と連携し、声を上げることが難しい子ども・若者や、困窮に陥りやすいひとり親家庭、困難な問題を抱える女性、孤独・孤立に悩む方など、生きづらさや暮らしにくさを抱える人たちへの支援の輪を広げることで、「見えない困窮」にも早期に対応し、誰もが生まれ育った環境によって将来を左右されず、自分らしく生きられる社会づくりをめざします。 |
| 25 | 伊達委員 | 基本構想 骨子(案) 実施計画 骨子(案) | どうすれば最大活用され、かつ、守る必要がある部分が守られるのかというバランスが重要である。クライシスであったり、リスクにどう対応するかという部分と同時にオポチュニティやクリエイティビティをどう創造するかという視点をうまくちりばめると、読み物として楽しくなる。 | 「基本構想」素案（案）に反映しました。 | <P15「政策展開の基本的視点」> (デジタル技術の進展による地域・社会の変化) そこで、県民の暮らしを豊かにする新しいライフスタイルなどを展望しながら、AIやロボットなど最先端のテクノロジーの開発・実用化による新たな価値の創造を後押しし、そうしたイノベーションにより、あらゆる分野の課題解決をめざします。また、誰もが安心してデジタル化の恩恵を受けることのできる社会の実現をめざします。 |
| 26 | 牛山委員 | 基本構想 骨子(案) 2 基本理念 | 基本構想の「いのち輝くマグネット神奈川」は非常に良いことなのだが、全く変わらないということで、文言の追加や修正はいらぬのか、ということも検討してもらいたい。 | 「基本構想」素案（案）に反映しました。 | <P9「基本理念」> 「いのち輝くマグネット神奈川」とは、県民が生きている喜びを実感し、生まれてよかった、長生きしてよかったと思えること、人やものを引きつけるマグネットの力を持ち、住みたい、何度も訪れてみたい、つながってみたいと思える魅力にあふれているということです。 |

| NO | 委員名 | 議題（資料）名 | 意見 | 対応 | 記載内容等 |
|-------------------------------|------|------------------------------------|---|---------------------|--|
| 新たな総合計画「実施計画」骨子（案）について | | | | | |
| 27 | 伊達委員 | 実施計画 骨子(案) プロジェクト | 担保すべきことが果たして魅力的なのか。安心安全はあるが、「いのち輝く、魅力」をどう創造するのか。「課題ベース」だと視野が狭くなる。「夢ベース」だと視野が広がるが質的改善にはつながらず、量に走ってしまう。質をどう担保していくのかが書かれていると、読んでワクワクする。運用をどうするかを考えると、弱い方の対策に偏ってしまう。強みを伸ばす意欲ある方を伸ばし、意欲がない方を勇気づけるといったバランスがあるとよい。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <p><P2「策定に当たって」> 「1 策定の趣旨」を加筆しました。</p> <p><P6「プロジェクト」> 「基本構想」に示した政策展開の基本的視点を踏まえ、5つのテーマを設定し、各テーマに沿って、県の重点施策を分野横断的に13のプロジェクトとして取りまとめました。</p> <p>テーマⅠ 希望の持てる神奈川 テーマⅡ 持続的に発展する神奈川 テーマⅢ 自分らしく生きられる神奈川 テーマⅣ 安心してらせる神奈川 テーマⅤ 神奈川を支える基盤づくり</p> |
| 28 | 瀧委員 | 基本構想 骨子(案) 実施計画 骨子(案) プロジェクト | 「国内外から選ばれる都市を作ります」について、どういうことを目指しているのかわかりにくい。実施計画のどのプロジェクトが対応するか分かりづらい。選ばれるということはどのようなことなのか、神奈川県としてどのようなことを想定しているのか、プロジェクトに落とし込む時に本当にこの文章でいいのかももう少し考えたほうがいい。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <p><P22「テーマⅡ 持続的に発展する神奈川」> デジタル化の加速などにより、産業構造の大きな変化が見込まれる中、県内産業、農林水産業の持続的発展に向けた取組を進めるとともに、地球温暖化を防止するため、脱炭素社会の実現をめざします。</p> |
| 29 | 小池委員 | 実施計画 骨子(案) 3 プロジェクト | PJ3「未病・健康長寿」の未病の改善に健康増進というキーワードが含まれているという理解でよいか。生き生きと生活や自分の心身を保っていく、高めていくということを前面に押し出すのに、未病の改善だとメッセージがそがれてしまうのでは保健や健康増進、もしくはそれに近いニュアンスものを選択すればよいかと思う。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <p><P16「PJ3 未病・健康寿命」「具体的な取組」> A 未病改善による健康寿命の延伸 1 丸目 高齢者の未病改善を図るため、「住民主体の通いの場」等を活用し、高齢者自らがフレイルを早期に発見し、未病改善の取組を実践できる機会の提供によるフレイル対策や、オーラルフレイル健口推進員の育成や市町村の健康づくり事業と連携したオーラルフレイル対策、「健康団地」における社会参加モデルの構築、認知症の早期発見による認知症未病改善などに取り組みます。</p> |

| NO | 委員名 | 議題（資料）名 | 意見 | 対応 | 記載内容等 |
|----|------|------------------------|---|---------------------------------|---|
| 30 | 小池委員 | 実施計画 骨子(案) 3 プロジェクト | 健康とともに栄養の在り方がとても大切になる。例えば食事や食育を知る機会を確保していく、運動と栄養が重要。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <p><P16「PJ3 未病・健康寿命」「具体的な取組」> A 未病改善による健康寿命の延伸 3丸目 子どもの未病改善を図るため、食や運動等の基本的な生活習慣の奨励や、医食農同源による食生活の改善、食育の推進などに取り組みます。</p> |
| 31 | 小池委員 | 実施計画 骨子(案) 3 プロジェクト | 健康日本21の健康、検診データを使ってどのように改善していくのかという取りまとめの中で、神奈川県はゼロだったなどデータの利活用が遅れている。データの利活用を強調していただいた点は素晴らしいが、安全が保証されていないとデータの利活用は進んでいかないので、データの安全性を強調した文言を入れていただくとうまいかと思う。 | 「基本構想」素案（案）、「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <p>【基本構想】 <P15「政策展開の基本的視点」> （デジタル技術の進展による地域・社会の変化） そこで、県民の暮らしを豊かにする新しいライフスタイルなどを展望しながら、AIやロボットなど最先端のテクノロジーの開発・実用化による新たな価値の創造を後押しし、そうしたイノベーションにより、あらゆる分野の課題解決をめざします。また、誰もが安心してデジタル化の恩恵を受けることのできる社会の実現をめざします。</p> <p><P30「政策分野別の基本方向」> （くらしと行政のデジタル化の推進） 県民の安全・安心と利便性の向上を図るため、くらしと行政のデジタル化を進め、誰もがデジタルの恩恵を受けられる社会の実現に向けて取り組みます。</p> <p>【実施計画】 <P16「PJ3 未病・健康寿命」「具体的な取組」> A 未病改善による健康寿命の延伸 4丸目 未病のさらなる普及・促進を図るため、CHO（健康管理責任者）構想の推進や未病指標の普及、政府の個人情報管理（PHR）の取組と協調したマイME-BYO カルテの活用、市町村による保健医療データの活用の促進など、健康情報の活用による効果的な施策の推進に取り組みます。</p> <p><P117「計画推進」「1 計画推進のための行政運営」「① デジタル技術の活用による効果的・効率的な施策の推進」> 県は、県民の安全安心や利便性の向上を図ることを目的とした「くらしのデジタル化」と、それを支える、行政内部の業務全般の効率化を図ることを目的とした「行政のデジタル化」により、県民目線のデジタル行政を推進し、誰もが安心してくらしをさせるやさしい社会の実現に取り組みます。</p> |

| NO | 委員名 | 議題（資料）名 | 意見 | 対応 | 記載内容等 |
|----|------|------------------------|---|---------------------|--|
| 32 | 海津委員 | 実施計画 骨子(案) 3 プロジェクト | P J 7「農林水産」について、食料の自給率をどう上げていくのかということが課題であり、県としてどのように自給率を上げていくのかという視点も盛り込むと農家などの方にも政策的視点が広がる。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <P25「PJ7 農林水産」「プロジェクトのねらい」> また、 <u>県民ニーズに応じた新鮮で安全・安心な農林水産物の提供を支援し、ブランド力の強化により、農林水産物の利用拡大を図ります。こうした取組により、地産地消を推進し、持続可能な農林水産業の実現をめざします。</u> |
| 33 | 末富委員 | 実施計画 骨子(案) 3 プロジェクト | P J 2「教育」について、国の「第4期教育振興基本計画」が6月に閣議決定されたところだが、「Well-being」いわゆる「幸せの実現」を子どもたちや学習者に実現していくという大胆な方針転換が図られている。その視点からいうと「たくましさ」や「自立」という書きぶりでは、「人を育む」視点がなく、非常に貧しい教育観を反映したままではないかという懸念がある。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <P13「PJ2 教育」「プロジェクトのねらい」> そこで、思いやる力や自立して生き抜く力、社会に貢献する力を育成し、 <u>「日本社会に根差したウェルビーイング」の向上を図るとともに、</u> 教員不足への対応や県立学校の老朽化対策などを推進し、すべての児童・生徒が安心して快適に学べる環境づくりに取り組むことで、変化の激しい社会に適応できる柔軟で自立した人材の育成を進めます。 |
| 34 | 和田委員 | 実施計画 骨子(案) 6 計画推進 | (イ) 多様な担い手との協働・連携について、多様な価値感、あるいはジェンダーなど壁を感じないボーダーレス協働を推進しますとか、めざしますとか、そういう言葉に変えられないか。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <P117「計画推進」「1 計画推進のための行政運営」「② 多様な担い手との協働・連携」> また、課題の性質によっては、 <u>県自ら旗振り役となって多様な担い手における取組を促進することで、多彩な人材が集まっている神奈川ならではの支え合いによる協働・連携を図り、SDGsの目標の達成にもつながる、持続可能な神奈川を共に創り上げていきます。</u> |
| 35 | 和田委員 | 実施計画 骨子(案) 6 計画推進 | (ウ) 県内市町村や他都道府県との協調・連携について、地域の人と人が繋がり、持続的成長を支えるプラットフォームを検討していきますという言葉に変えられないか。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <P117「計画推進」「1 計画推進のための行政運営」「② 多様な担い手との協働・連携」> こうしたことから、 <u>県は、めざすべき方向性や問題意識を、県民や企業、NPO、大学、団体等と、対等なパートナーとして共有し、政策形成の早い段階から対話を重ねるなど、複雑化・多様化する様々な課題に共に向き合っ</u> て協働・連携を推進します。 <P118「計画推進」「1 計画推進のための行政運営」「③ 県内市町村や他都道府県との協調・連携」> こうしたことから、 <u>広域自治体である県は、市町村とより一層の連携や効果的な施策のあり方を検討しながら、広域的な地域活性化に取り組むとともに、市町村が持続的に行政サービスを提供できるよう支援していきます。</u> |

| NO | 委員名 | 議題（資料）名 | 意見 | 対応 | 記載内容等 |
|----|------|------------------------|---|---------------------|---|
| 36 | 和田委員 | 実施計画 骨子(案) 3 プロジェクト | P J 2 「教育」について、知の創発や新しい社会的知識の吸収などリベラルアーツ的な教育を進めていきますといった言葉のほうに向かっていく方向が見えるのではないか | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <p><P14「PJ2 教育」「具体的な取組」> A 思いやる力や自立して生き抜く力、社会に貢献する力を育成する学校教育 2 丸目 社会の変化に対応する教育を推進するため、理数教育の推進やグローバル人材の育成、1人1台端末を活用した教育活動などに取り組みます。</p> |
| 37 | 和田委員 | 実施計画 骨子(案) 3 プロジェクト | P J 3 「未病・健康長寿」について、身体的、精神的、社会的に良好なウェルビーイングを共創させていく、フレイルにならない社会を培っていくという言葉を加えられないか | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <p><P16「PJ3 未病・健康長寿」「具体的な取組」> A 未病改善による健康寿命の延伸 1 丸目 高齢者の未病改善を図るため、「住民主体の通いの場」等を活用し、高齢者自らがフレイルを早期に発見し、未病改善の取組を実践できる機会の提供によるフレイル対策や、オーラルフレイル健口推進員の育成や市町村の健康づくり事業と連携したオーラルフレイル対策、認知症の早期発見による認知症未病改善などに取り組みます。</p> <p><P49「神奈川の戦略」「2 輝き続ける人生100歳時代の実現」> そのため、県では、いくつになっても生き生きとくらせる未病改善の取組を推進するとともに、人生の充実につながるライフスタイルの多様化を促進するなど、すべての世代・立場の人々が、自分らしく活躍できる社会づくりを推進しています。今後も、SDG s の視点を踏まえながら、これらの取組をより一層推進していくことで、県民一人ひとりが自らの人生の設計図を思い描き、生涯にわたり輝き続ける、笑いあふれる人生100歳時代の実現をめざします。</p> |
| 38 | 和田委員 | 実施計画 骨子(案) 3 プロジェクト | P J 8 「脱炭素・環境」について、自然や地域文化と環境のサステイナブル共生のような、文化と環境を単純に維持すればよいというわけではなく、経済性も考慮しながらうまく地域文化と環境との共生を図るような言葉がどこかに欲しい。 | 「基本構想」素案（案）に反映しました。 | <p><P16「政策展開の基本的視点」> (地球環境問題) そこで、脱炭素社会及び循環型社会の実現、生物多様性の保全に向けて、各主体が課題を「自分事化」し、それぞれの役割を踏まえて取組を進められるよう、県が取組を後押しするとともに、県自らも率先実行に取り組むことで、環境と経済が調和する持続可能な社会の実現に貢献します。</p> |

| NO | 委員名 | 議題（資料）名 | 意見 | 対応 | 記載内容等 |
|----|------|------------------------|---|---------------------|---|
| 39 | 坪谷委員 | 実施計画 骨子(案) 3 プロジェクト | P J 10「共生社会」について、「実施計画」は、より具体的な施策の方向性を打ち出すという意味では、ちょっと具体性が少ないという印象を受ける。当事者目線の障害福祉推進条例」というものが作られているので、具体的な言葉を入れてもらいたい。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <p><P34「PJ10 共生社会」「具体的な取組」> A 障がい児・者とともに生きる社会の実現 1丸目、2丸目 「当事者目線の障害福祉推進条例～ともに生きる社会を目指して～」の実現に向け、市町村と緊密に連携を図り、事業者、県民の理解と協力を得ながら障がい者の立場に立った施策を推進します。</p> <p>「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念や「当事者目線の障害福祉」のさらなる普及啓発を図るため、憲章のPRや障がいに対する理解促進に向けた取組を推進します。</p> |
| 40 | 原委員 | 実施計画 骨子(案) 3 プロジェクト | 栄養を知る機会が大切という意見と食料自給率を上げることが大切という意見があったが、これらをあわせて対応してよいのではないか。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <p><P16「PJ3 未病・健康長寿」「具体的な取組」> A 未病改善による健康寿命の延伸 3丸目 子どもの未病改善を図るため、食や運動等の基本的な生活習慣の奨励や、医食農同源による食生活の改善、食育の推進などに取り組みます。</p> <p><P26「PJ7 農林水産」「具体的な取組」> B 安全・安心な魅力ある県産農林水産物の利用拡大 4丸目 都市と農林水産業の共存を図るため、学校等への出前講座や、地域ぐるみの共同活動や里地里山の保全活動などを実施し、農林水産業の多面的機能や生産活動に対する県民の理解促進を図ります。</p> |

| NO | 委員名 | 議題（資料）名 | 意見 | 対応 | 記載内容等 |
|----|------|----------------------------|---|---------------------------------|--|
| 41 | 原委員 | 実施計画 骨子(案) 3 プロジェクト | P J 1「子ども・若者」について、「希望する人が希望する人数の子どもを持ち」とあるが、希望する人自体が増えるように読み取れるようにした方がよいのではないか。 | 「基本構想」素案（案）、「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <p>【基本構想】 <P13「政策展開の基本的視点」>（少子高齢社会） そこで、若い世代が未来に希望を持ち、希望する人数の子どもを生き育てることができるよう、当事者である若い世代や子どもの目線を大切にしながら、経済的な負担や社会的な障壁の緩和をめざすとともに、・・・（中略）・・・をめざします。</p> <p>【実施計画】 <P12「PJ1 子ども・若者」「具体的な取組」> A 子育てに希望の持てる社会づくり 1 丸目 子育てしやすい環境づくりの推進を図るため、市町村等と連携した結婚支援や妊娠期からの伴走型相談支援・産後ケアの充実など切れ目なく支援を行います。</p> |
| 42 | 牛山委員 | 実施計画 骨子(案) 2 めざすべき4年後の姿 | 「県民目線のデジタル行政でやさしい社会の実現」について、デジタル化はもちろん大事だが、方向性を示す必要がある。県民目線のデジタル行政というのはセキュリティや情報弱者のここのように読めるが、中身を見ると「ジェンダー」や「当事者目線」「三つの主流化」と書かれており、全体として文言を整理する必要がある。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <p><P5「めざすべき4年後の姿」> 2 丸目 そこで、<u>進歩の著しいデジタルの力を様々な県政課題の解決に積極的に活用し、当事者の目線に立って県民の不安を解消することで、やさしい社会の実現をめざします。</u></p> <p><P117「計画推進」「1 計画推進のための行政運営」> また、<u>政策の立案・企画・実施に当たっては、「ジェンダー」「ともに生きる（ともいき）」「当事者目線」の視点を「3つの主流化」として、いつも意識していきます。</u></p> |

第140回総合計画審議会における意見と県の対応

| NO | 委員名 | 議題（資料）名 | 意見 | 対応 | 記載内容等 |
|--------------------------|------|---------|---|---------------------|--|
| 新たな総合計画の策定基本方針（案） | | | | | |
| 43 | 柳瀬委員 | 策定基本方針 | 従来、残念ながら政策目標に対するK P Iが、これで良いのかと思う項目も多くあった。K P Iだけにこだわると優先順位であったり緊急度なども、適切に遂行することができなくなる。今後もK P Iや指標を用いながら進めていくと思うが、確実に達成できるK P Iを設定するのではなく、本当に必要な、キーとなる指標を用いながら、寄与度や緊急度を追求してもらいたい。また、併せてその目標を達成するために必要な目標に今後果敢にトライしていただきたい。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <P124「付属資料」> プロジェクトの指標・K P Iに設定の考え方を記載しました。 |
| 44 | 小出委員 | 策定基本方針 | この3年ほど、もともと立てたK P Iや目指したいものが、コロナの影響で状況が大きく変わって変えざるをえなくなった。違う指標を作るべきではないかと思うが、今の仕組み上、柔軟性が足りない。今後は、社会的に非常に大きな変動があったときには、K P I自体も見直せるような柔軟性を持てるようになっていただきたい。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <P119「計画推進」「2 計画の進行管理」> また、計画策定時に想定し得なかった事態が生じた場合には、「政策のマネジメント・サイクル」にとらわれず、その時々状況に応じた政策評価や柔軟な政策展開を図るものとします。 |
| 45 | 中村委員 | 策定基本方針 | 本来、K P Iは必要に応じて変えていくものである。あくまでも基本目標を達成するために、この施策が重要かを示すのがK P Iの本来の趣旨で、目標に達成しなかったらこのK P Iは本当に正しいのか、しっかり議論して、他のもっと重要な政策があるのかどうか、それが分かたら変えるのがK P Iの目的で、途中で変えない方がむしろおかしい。基本目標は変える必要はないが、そのための手段であるK P Iについては本当に柔軟に変えるべき。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <P119「計画推進」「2 計画の進行管理」> また、計画策定時に想定し得なかった事態が生じた場合には、「政策のマネジメント・サイクル」にとらわれず、その時々状況に応じた政策評価や柔軟な政策展開を図るものとします。 |

| NO | 委員名 | 議題（資料）名 | 意見 | 対応 | 記載内容等 |
|--------------------------|------|-------------------|---|---------------------|---|
| 将来を見据えた問題意識と当面の課題 | | | | | |
| 46 | 小林委員 | 将来を見据えた問題意識と当面の課題 | デジタル化の問題、この50の視点では7番と22番を密接につなげるための未来像として、在宅介護・在宅医療のデジタル化というのは絶対避けて通れないポイントである。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <p><P16「PJ3 未病・健康長寿」「具体的な取組」> A 未病改善による健康寿命の延伸 4丸目 未病のさらなる普及・促進を図るため、<u>CHO（健康管理責任者）構想の推進や未病指標の普及、政府の個人情報管理（PHR）の取組と協調したマイME-BYO カルテの活用、市町村による保健医療データの活用の促進など、健康情報の活用による効果的な施策の推進に取り組みます。</u></p> <p>C 地域包括ケアシステムの深化 1丸目 地域包括ケアを支える基盤づくりを進めるため、保健・医療・福祉人材の養成・確保、<u>介護ロボット・ICTの導入による介護保険サービスの適切な提供のための基盤づくりの推進や、質の高い人材を育成する研修等の実施による訪問看護推進の支援、課題の抽出や好事例の共有を行う協議会の設置による在宅医療介護連携の支援などに取り組みます。</u></p> <p><P117「計画推進」「1 計画推進のための行政運営」> ①デジタル技術の活用による効果的・効率的な施策の推進の項目を新たに作成し、加筆しました。</p> |
| 47 | 河野委員 | 将来を見据えた問題意識と当面の課題 | 個人と県、その中間に位置するネットワークの重要性が高まるのではないかと。県がすべての問題に対応することは困難であり、他方で、個人の自助努力に、完全に依存するということも困難である。産業や安全、福祉、海岸や文化保全など、地域のネットワークが非常に大きな意味を持つ。そういったものが県の魅力度を高めるということにもなり、多様なネットワークをいかに高度に作っていくのかという視点がこれからの課題、重要ではないか。 | 「基本構想」素案（案）に反映しました。 | <p><P19「政策展開の基本的視点」> （多様な主体の強みを生かした協働・連携） そこで、<u>社会課題の解決やサービスの担い手としてますます重要性が高まるNPOや企業、大学、団体等と、対等なパートナーとしてめざすべき方向性や問題意識を共有し、政策形成の早い段階から対話を重ねるなど、複雑化・多様化する様々な課題に共に向き合っ</u>て協働・連携を推進することで、持続可能な神奈川を共に創り上げていきます。</p> |

| NO | 委員名 | 議題（資料）名 | 意見 | 対応 | 記載内容等 |
|----|------|-------------------|--|---------------------|--|
| 48 | 渡辺委員 | 将来を見据えた問題意識と当面の課題 | 冷静な分析の上で、どんな未来を描いていきたいかという中には、例えば介護や子育ては大変だが、逆に幸せ度が増す面もある。高齢者が元気で、できるだけ長く健康でありながら穏やかな時間を過ごせるようにというのは、決してお金だけかければ実現することではなく、気持ちの面がとても大きいものである。それは、大変な子育ての中でも。それが、神奈川のマグネットという言葉に盛り込めたらよい。 | 「基本構想」素案（案）に反映しました。 | <p><P14「政策展開の基本的視点」> （人生100歳時代） そこで、誰もが文化芸術活動やスポーツに多様な形で親しみ、人々との交流を通じて心豊かにくらすことができるよう、様々な場や機会の創出をめざします。</p> <p>< P17「政策展開の基本的視点」> （ともに生きる社会） そこで、ともに生きる社会の実現をめざし、多様な個性を尊重することの重要性を広く浸透させるとともに、当事者目線に立って課題を共有しながら、地域や社会に潜在する様々な障壁を取り除き、希望する誰もが個性や可能性を生かして自分らしく社会参加し、お互いに支え合いながら活躍できる地域社会をつくります。</p> |
| 49 | 海原委員 | 将来を見据えた問題意識と当面の課題 | 42番「障がい者施策は変わるか」で国連の総括所見が記載されているが、生活介護の事業所もいわゆる障がい者の権利条約に照らしてみると、課題があるととらえられている。だから、この障がい者施策ではなく、このとらえ方をきちんとしていく必要があるのではないか。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <p><P14「PJ2 教育」「具体的な取組」> A 思いやる力や自立して生き抜く力、社会に貢献する力を育成する学校教育 3丸目 共生社会の実現に向けた人づくりを進めるため、インクルーシブ教育の推進や、「いのちの授業」のさらなる普及などに取り組みます。</p> <p><P34「PJ10 共生社会」「具体的な取組」> A 障がい児・者とともに生きる社会の実現 3丸目 障がい児・者が望むくらしを実現するため、地域生活移行の中心となる人材や、移行後のくらしを支える人材などの育成・確保を図るとともに、安心して生活できる環境の推進や地域づくりの促進などに取り組みます。</p> |

| NO | 委員名 | 議題（資料）名 | 意見 | 対応 | 記載内容等 |
|----|------|-------------------|--|---------------------|---|
| 50 | 瀧委員 | 将来を見据えた問題意識と当面の課題 | 2040年の問題だとか課題として考えたとき、一番最初にいつも出てくるのは少子高齢化。これは避けて通れないが、やはり一番のベースがどこにあるのか考えると、県民もしくは神奈川県に関わる方々たちが、誰一人も残さず、幸せに安全に暮らせること、それに関わることを行政として取り組んでいくことが非常に大事である。先週は集中豪雨もあったし、地震もあらゆるところで起きている。コロナも少しずつ増えているとニュースになっており、2040年にかけてもう1回パンデミックは必ず来ると思う。自然災害は避けて通れないので、それに対する備え、起こった時の対応、きちんとテーマの中に入れておくことが非常に大事である。サステナブルな環境をどう維持していくかは、安全に暮らしていくには必ず必要である。その中には自然、文化を維持することもある。 | 「基本構想」素案（案）に反映しました。 | <p><P16「政策展開の基本的視点」> （地球環境問題） 各主体が課題を「自分事化」し、それぞれの役割を踏まえて取組を進められるよう、県が取組を後押しするとともに、県自らも率先実行に取り組むことで、環境と経済が調和する持続可能な社会の実現に貢献します。</p> <p><P18「政策展開の基本的視点」> （くらしをとりまくリスクや潜在的課題） 不安定な国際情勢を背景とする有事などの懸念に加え、<u>新興感染症の感染拡大が将来にわたり何度も発生する可能性が指摘されています。</u>・・・また、<u>新興感染症の感染拡大に備え、平常時から市町村や関係団体等との連携体制の強化をめざします。</u></p> |
| 51 | 小出委員 | 将来を見据えた問題意識と当面の課題 | 神奈川県の特徴として、産業の源としての自然というのがあってはどうか。海も山もある県なので、漁業があり、農業があり、林業があり、畜産もある。自然を産業の源として、もっと活性化していく、または、神奈川県ならではのものとして、ブランド化していく。神奈川県のブランドとして、自然を源とした産業をもっと出していけるのではないかと。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <p><P20「PJ5 観光・地域活性化」 「具体的な取組」> B 地域にひとの流れをつくる取組の推進 4 丸目 神奈川の豊かな水を育む水源地域の活性化を図るため、<u>宮ヶ瀬湖など水源地域が持つ自然や歴史、文化といった資源を魅力として発信するとともに、水源環境の理解促進や交流の場の拡充に取り組めます。</u></p> <p><P26「PJ7 農林水産」 「具体的な取組」> B 安全・安心な魅力ある県産農林水産物の利用拡大 1 丸目 県産の農林水産物を県民にとどけ、よろこばれるため、<u>かながわブランドの登録の促進や6次産業化の支援、生産者と食品関連事業者とのマッチング商談会により、農林水産物のブランド力の強化や付加価値の向上、利用拡大の促進を図ります。</u></p> <p><P44「PJ13 都市基盤」 「具体的な取組」> B 活力と魅力あふれる強靱なまちづくりの推進 2 丸目 <u>個性豊かなまちづくりを進めるため、地域の自然や歴史・文化を生かした良好な景観を形成するとともに、官民協働によって邸宅・庭園及び歴史的建造物を新たな文化発信の場や、地域住民や来訪者の多彩な交流の場として保全活用するなど、地域の特色を生かしたまちづくりに取り組めます。</u></p> |

| NO | 委員名 | 議題（資料）名 | 意見 | 対応 | 記載内容等 |
|----|------|-------------------|--|---------------------|--|
| 52 | 小出委員 | 将来を見据えた問題意識と当面の課題 | イノベーションをもっと活性化していくためには、人材の多様性が必要であり、女性の本当の活躍が重要になってくる。議会には女性議員がどれぐらいいるのか。女性議員も増やして欲しい。県の審議会でも女性委員の割合がなかなか上がらない。本来であれば半分ずつについてもおかしくない。女性を本当の意味で重要な人材として活用し、そして格差のない賃金で、神奈川県はリードしていただきたい。多様性が新しい発想を生む、今までの延長線ではない新しい県のあり方や施策を考えなければいけないフェーズであり、そのためにも女性の多様な視点を取り入れていくということは非常に重要であり、ぜひ盛り込んでいただきたい。 | 「基本構想」素案（案）に反映しました。 | <p><P17「政策展開の基本的視点」> （ともに生きる社会） 人與人とが互いに理解し合い、互いの人権を尊重することが、価値観が多様化する現代社会を生きるうえで重要となっています。そうした中で、<u>ジェンダー平等の実現など、性別や国籍、障がいの状態などを理由とする差別・排除のない、誰もが多様な個性を發揮し、互いに尊重し合える社会の実現が求められています。</u> そこで、ともに生きる社会の実現をめざし、多様な個性を尊重することの重要性を広く浸透させるとともに、<u>当事者目線に立って課題を共有しながら、地域や社会に潜在する様々な障壁を取り除き、希望する誰もが個性や可能性を生かして自分らしく社会参加し、お互いに支え合いながら活躍できる地域社会をつくります。</u></p> <p><P26「政策分野別の基本方向」> （多様な人材が活躍できる社会づくり） 1 丸目 人材の多様な特性やニーズを踏まえた就業支援等を通じて、若年者や中高年齢者、女性、障がい者など多様な人材の活躍を支えます。また、外国人材が働きやすい環境づくりに取り組みます。</p> |
| 53 | 牛山委員 | 将来を見据えた問題意識と当面の課題 | 議員の割合とか、国会議員とか含めて上がってきているが、自治体の現場に近づけば近づくほど女性がいなくなる。女性の自治会長は全国で5%、女性の防災委員は10%と地域の決定の場にいらない。いきなり議員に出るかという経験もなく、慣れていない中で、なかなか立候補できない。自治体の現場で女性が活躍したり、割合が増えていく視点も一つ加えていくと、神奈川県らしい。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <p><P34「PJ10 共生社会」「具体的な取組」> C ジェンダー平等社会の実現 1 丸目 <u>社会のあらゆる分野で、すべての人が性別にかかわらず意思決定過程に参画できる社会を実現するため、政治分野における男女共同参画を推進するとともに、企業、団体等の意識改革などに取り組み、ジェンダー平等社会の実現に向けた環境づくりを推進します。</u></p> |

| NO | 委員名 | 議題（資料）名 | 意見 | 対応 | 記載内容等 |
|----|------|-------------------|---|--|--|
| 54 | 大村委員 | 神奈川の特徴と強み | <p>スポーツのプロチームやトップチームが多いことも、神奈川の魅力の一つだと思っている。スポーツはコミュニティ的、健康的、教育的な要素があり、県でもスポーツツーリズムといった産業的な視点も取り入れられている。行政としての役割がなかなか明確になっていないと感じている。運動習慣を高めるなどの理念、考え方の向上だけであり、他県にはない魅力のスポーツ産業をもっと目標として掲げて、スポーツの力を生かしたまちづくりや行政運営も大事である。</p> | <p>「基本構想」素案（案）、「実施計画」素案（案）に反映しました。</p> | <p>【基本構想】 <P30「政策分野別の基本方向」> （誰もが生涯を通じてスポーツを楽しむことができる環境づくり） 誰もが生涯を通じて、気軽にスポーツを楽しみ、心身ともに健康で豊かに過ごすことができるよう、乳幼児から高齢者までのライフステージに応じたスポーツ活動の推進や、誰もがスポーツを「する」「観る」「支える」といった、多様な形で楽しむことができる環境づくりなどに取り組みます。</p> <p>【実施計画】 <P18「PJ4 文化・スポーツ」「具体的な取組」> B 誰もがスポーツに親しむことのできる社会づくり 2丸目 県民の多様なニーズに対応しながら、様々なスポーツ活動に親しむための環境の充実を図るため、<u>総合型地域スポーツクラブの量的・質的な充実、県立スポーツセンターをはじめとした県立施設の環境整備など、スポーツ環境の基盤となる「人材」の育成と「場」の充実に取り組みます。</u></p> |
| 55 | 大村委員 | 将来を見据えた問題意識と当面の課題 | <p>若年層の政治離れが懸念されているなど一般的には若者は政治に関心がないと言われているが、若者ほど社会問題に関心を持っていると感じている。高齢者の目線などが分厚い中で、やはり若者にも神奈川県に希望を持ってもらえるような、政策の立案、KPIの策定などを考えていくべき。</p> | <p>「基本構想」素案（案）に反映しました。</p> | <p><P13「政策展開の基本的視点」> （少子高齢社会） そこで、<u>若い世代が未来に希望を持ち、希望する人数の子どもを生ま育てること</u>ができるよう、<u>当事者である若い世代や子どもの目線を大切にしながら、経済的な負担や社会的な障壁の緩和をめざすとともに、神奈川の未来を担うすべての子どもたちが安心して快適に学び、自分らしく生きる力を高められる環境づくりをめざします。</u></p> |

| NO | 委員名 | 議題（資料）名 | 意見 | 対応 | 記載内容等 |
|----|------|-------------------|--|---------------------|---|
| 56 | 田中委員 | 将来を見据えた問題意識と当面の課題 | 減り続ける子どもの問題に危機感を持っている。内閣府の調査によると理想の子どもの数を持たない、生まない、理由で断トツに多いのは、子育てや教育にお金がかかりすぎるからという回答が一番多いというアンケート結果が出ている。一番お金がかかると言われている高等教育の負担軽減ということが必要である。例えば低所得家庭でも大学に進学できるような高等教育の無償化や授業料の減免、あと対応型ではなくて、給付型の奨学金制度の拡充等に取り組むべき。 | 「基本構想」素案（案）に反映しました。 | <p><P13「政策展開の基本的視点」> （少子高齢社会） そこで、若い世代が未来に希望を持ち、希望する人数の子どものを生き育てることができるよう、当事者である若い世代や子どもの目線を大切にしながら、経済的な負担や社会的な障壁の緩和をめざすとともに、神奈川の未来を担うすべての子どもたちが安心して快適に学び、自分らしく生きる力を高められる環境づくりをめざします。</p> |
| 57 | 小林委員 | 将来を見据えた問題意識と当面の課題 | 時間のゆとりを幸福の評価指標に入れていくということはとても大事である。男性のようにガリガリ働くところに女性が入るということではなく、男性も少し時間のゆとりを持って、一旦休む時は子育てのために休み、それから介護の時も勇気を持って休む。そうした環境を作っていくことはとても大事である。女性の活躍社会も、そうした時間のゆとりを幸福度に盛り込むような試みを神奈川県でやっていただきたい。 | 「基本構想」素案（案）に反映しました。 | <p><P20「政策分野別の基本方向」> （結婚や出産・育児の希望が叶えられる社会づくり） ワーク・ライフ・バランスの考え方の普及啓発に取り組み、長時間労働などの働き方の見直し、育児休業の取得など仕事と子育ての両立に向けた取組を推進します。</p> <p><P26「政策分野別の基本方向」> （多様な人材が活躍できる社会づくり） 生活と仕事の調和を図るワーク・ライフ・バランスを推進し、一人ひとりがライフスタイルやライフステージに応じて、働く場所や時間など多様で柔軟な働き方を選択して働き続けることができ、安心して生涯にわたる生活設計を描けるよう、労働環境の整備を図ります。</p> |
| 58 | 小泉委員 | 将来を見据えた問題意識と当面の課題 | 社会はやはり経済主義で動いているから、GDPであったり、高機能であったり、高性能であったり、という物差しで考えるが、豊かな社会の質の部分、人間的なコミュニティであったり、支え合いであったり、そういった物差しで考えることによる豊かさというのを、県としてもぜひ考えていただきたい。 | 「基本構想」素案（案）に反映しました。 | <p><P13「政策展開の基本的視点」> （人口減少社会） そこで、それぞれの地域の特性を生かした様々な取組により、人の流れをつくることで、にぎわいを創出するとともに、多様な主体が地域に誇りを持って活躍し、豊かさを実感できるまちづくりをめざします。また、コミュニティの再生・活性化を支えるスマートモビリティ社会の実現に向けた取組など、都市づくりの観点から地域課題の解決をめざします。</p> |

| NO | 委員名 | 議題（資料）名 | 意見 | 対応 | 記載内容等 |
|----|------|-------------------|--|---------------------|---|
| 59 | 関委員 | 将来を見据えた問題意識と当面の課題 | 8の孤独な高齢者の増加の部分で、社会から孤立する高齢者が増加してる点は、大きな問題だと思っており、繋がりづくりが大切です。同時に、42から44のように、障がい者、ジェンダー、新たな人権の課題のように、多様性を重視する必要性も問われている。くらしと多彩な自然・文化が調和し、時代を切り拓く人材や産業が集う神奈川、多様な人材の活動拠点という神奈川の特色や強みを生かした形の多様性を検討していく必要がある。この多様性や、繋がりづくりは、なかなかKPIでは評価しづらい点である。NPOとかボランティアとかによる多様な活動を、より神奈川の強みとして転換していくためには、これまでも課題となってきたが、こうした繋がりづくりや多様性をどう評価していくかということをしっかり検討していくべき。 | 「基本構想」素案（案）に反映しました。 | <p><P17「政策展開の基本的視点」> （社会的孤立や生活への不安） そこで、多様な担い手と連携し、声を上げることが難しい子ども・若者や、困窮に陥りやすいひとり親家庭、困難な問題を抱える女性、孤独・孤立に悩む方など、生きづらさやくらしにくさを抱える人たちへの支援の輪を広げること で、「見えない困窮」にも早期に対応し、誰もが生まれ育った環境によって将来を左右されず、自分らしく生きられる社会づくりをめざします。</p> |
| 60 | 久本委員 | 将来を見据えた問題意識と当面の課題 | 移住の支援やテレワーク支援等を進めていくことで、2040年に多くの観光客や外国人の方を神奈川に迎え入れることや、同時にその地域に働き手を作っていくことになるので進めていくべき。県では「かながわ脱炭素ビジョン2050」を策定もしているので、脱炭素社会の実現に向けて、県民と一体となって持続可能な地域を作るという意味で、やはり環境は外せない点で、拡充させたものが必要になってくる。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <p><P20「PJ5 観光・地域活性化」 「具体的な取組」> C 移住・定住の促進に具体的な取組を記載しました。</p> <p><P28「PJ8 脱炭素・環境」 「具体的な取組」> A 多様な主体による取組と後押しに具体的な取組を記載しました。</p> |
| 61 | 清家会長 | 将来を見据えた問題意識と当面の課題 | 2040年の問題を考えると、人口構造は一番確実な将来予測変数でもあるので、少子高齢化の中で、県民がどうしたら幸せに暮らせるか、ということを考えることが大切である。その際のポイントは、行政が、あれもこれもサービスを提供する、いわゆる「サービスプロバイダー」から、県民一人一人が多様な考え方に従って幸せになる舞台を整えていく「プラットフォームビルダー」となるような転換が必要になってくるのではないか。 | 「基本構想」素案（案）に反映しました。 | <p><P19「政策展開の基本的視点」> （多様な主体の強みを生かした協働・連携）2段落目 そこで、社会課題の解決やサービスの担い手としてますます重要性が高まるNPOや企業、大学、団体等と、対等なパートナーとしてめざすべき方向性や問題意識を共有し、政策形成の早い段階から対話を重ねるなど、複雑化・多様化する様々な課題に共に向き合って協働・連携を推進することで、持続可能な神奈川を共に創り上げていきます。</p> |

第97回計画推進評価部会・第19回計画策定専門部会における意見と県の対応

| NO | 委員名 | 議題（資料）名 | 意見 | 対応 | 記載内容等 |
|--------------------------|------|-------------------|---|---------------------|---|
| 将来を見据えた問題意識と当面の課題 | | | | | |
| 62 | 小池委員 | 将来を見据えた問題意識と当面の課題 | すべての世代の方たちが輝き、活動していくことができるようにしていくためのリスキリングの場と学び直しの間ということ、大学でもう一度学び直すということだけではなく、コミュニティセンターのような学び直し機会に触れる場を県としてどう準備していくのか、ということも大切である。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | ＜P50「神奈川の戦略」「2 輝き続ける人生100歳時代の実現」「具体的な取組」＞ 人生の充実につながるライフスタイルの多様化の促進 県民一人ひとりの学びの意欲に応え、生涯にわたって能動的に学び続けることや、いくつになっても学び直すことができるよう、生涯学習などの環境整備を行います。 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて職場環境の整備促進に取り組むとともに、企業で働く人の学び直し（リスキリング）への支援に取り組めます。 |
| 63 | 海津委員 | 神奈川の強み | 神奈川県に対する求心力は一体何なのか、SWOT分析をするならば強みになるところ、機会となるところは何かというところを見据えて、どう高めていくのかということを中心に考えることが必要ではないか。 | 「基本構想」素案（案）に反映しました。 | 神奈川の特徴や強みについて、「(2)神奈川の特徴や強み」(P5)のとおり整理しました。 また、こうした神奈川の特徴や強みを踏まえたうえで、県の政策がめざすべき方向性を「政策展開の基本的視点」(P13～19)をまとめました。 |
| 64 | 末富委員 | 将来を見据えた問題意識と当面の課題 | フィロソフィー（理念）と呼んでいるものがもう少し記載されていないと一層多様化していく神奈川県民や一時的な定住者も含めて包摂していくことが難しいのではないか。 | 「基本構想」素案（案）に反映しました。 | 「第1章 基本目標」において、県政の基本理念を「2 基本理念」(P9)に示すとともに、基本理念のもとに実現をめざす神奈川の将来像を「3 神奈川の将来像」(P10)として示しました。 |

| NO | 委員名 | 議題（資料）名 | 意見 | 対応 | 記載内容等 |
|----|------|---------|--|---------------------|--|
| 65 | 矢島委員 | 50の視点 | データの解釈とタイトルの結びつきに疑問を感じるところが結構ある。4「減り続ける子ども」について、親世代の人口が減ってきているので、今後対策を打っても子どもの「数」が減ることは避けがたい。行政として、国、県として何ができるかと考えると、「出生率」を上げることはできる。注目すべきは「出生率」なのではないか。 | 「実施計画」素案（案）に反映しました。 | <P12「PJ1 子ども・若者」「プロジェクトのねらい」> そこで、結婚、妊娠、出産、子育てができる環境を整備するとともに、配慮が必要な子ども・若者の実態に応じた適切かつ効果的な支援に取り組むことで、希望する人が希望する人数の子どもを持ち、安心して子どもを産み育てることができ、また、子ども・若者が主体的に生き、自立・参加・共生する社会をめざします。 |
| 66 | 小池委員 | 神奈川の強み | 神奈川県の特徴や強みに関しては具体的にはなぜ強みなのかという点分かるようなデータがありません。特に強みについて、この点が強みという点を、数字で出せるものがあれば同じような形で出していただくと非常にわかりやすくなる。 | 「基本構想」素案（案）に反映しました。 | 神奈川の特徴や強みについて、P5からP6に可能なものについては、数字を記載しました。 |
| 67 | 原委員 | 神奈川の強み | 県央地区に関しての、記載が全くされてないので、厚木市、或いは県央地区を取り入れてほしいと思います。身近にある多彩な自然や文化の中で温泉街や富士山の絶景で知られる箱根と記載されていますが、厚木も温泉などたくさんあり、箱根と記載しない視点もあり得るのではないかと。 | 「基本構想」素案（案）に反映しました。 | <P5「神奈川の特徴や強み」> （くらしと調和する多彩な自然・文化） ● 多彩な自然環境 美しいなごさを持つ相模湾、みどり豊かな丹沢大山などのやまなみ、県民の貴重な水源であるやまなみ五湖など多彩な自然がくらしと調和しています。 |